

# 島根県の地震

令和5（2023）年6月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

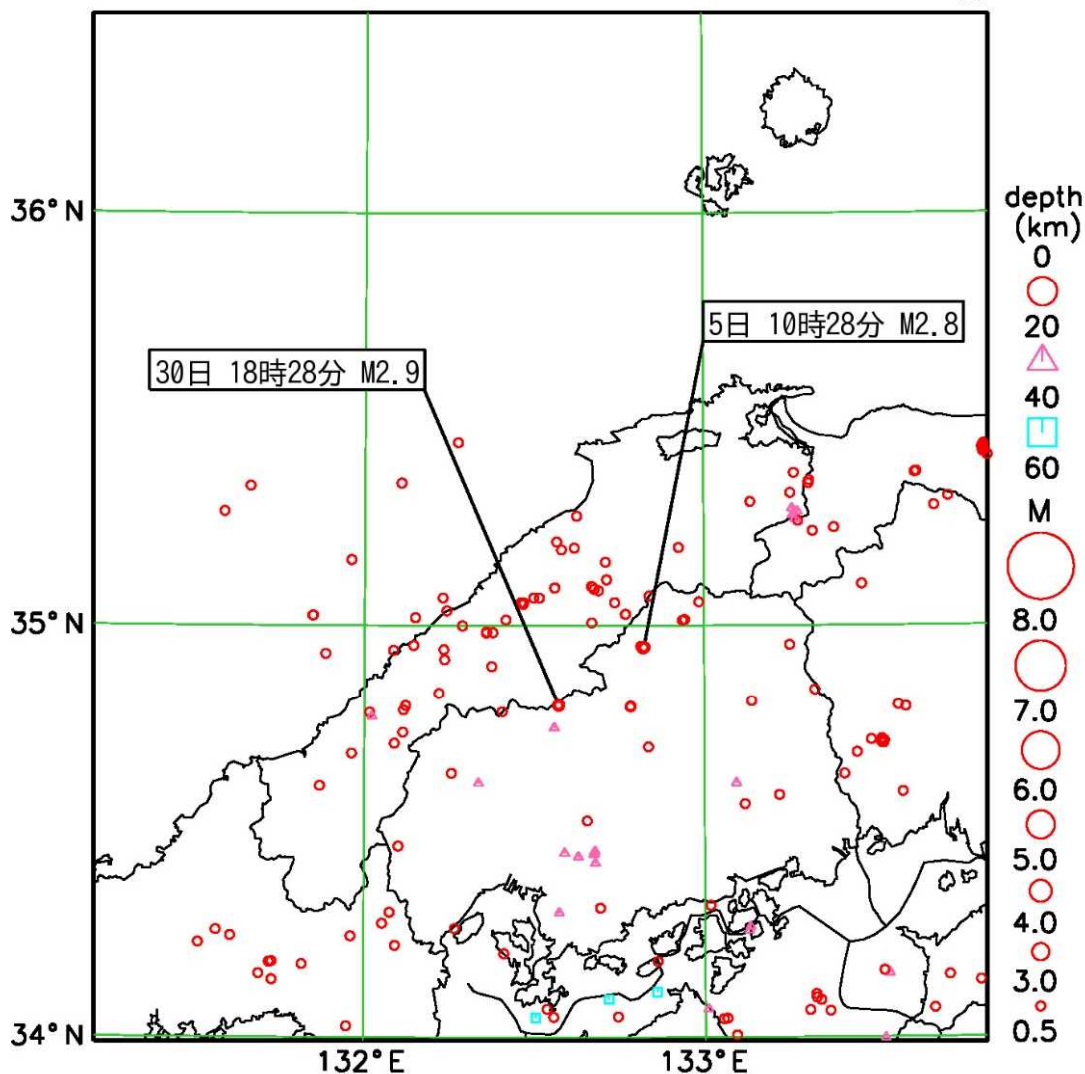
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

# 島根県およびその周辺地域の地震活動 2023年6月1日～30日

2023 06 01 00:00 -- 2023 06 30 24:00

N=185



## [概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は185回（5月は185回）でした。

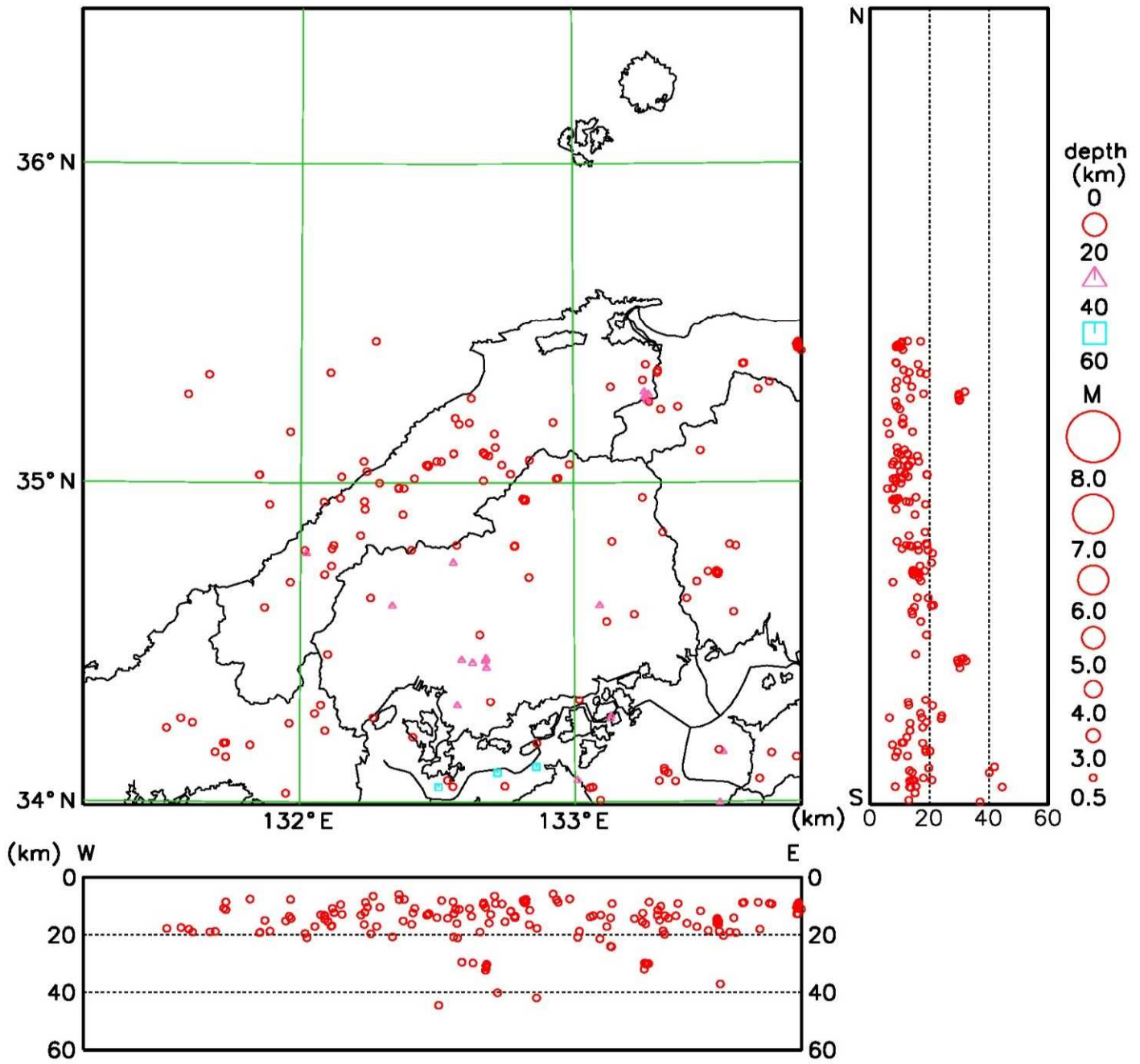
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、2回でした。

5日10時28分 広島県北部の地震（深さ9km、M2.8）により、邑南町で震度1を観測しました。また、広島県で震度1を観測しました。

30日18時28分 広島県北部の地震（深さ16km、M2.9）により、川本町・邑南町で震度1を観測しました。また、広島県で震度1を観測しました。

[断面图]

2023 06 01 00:00 -- 2023 06 30 24:00



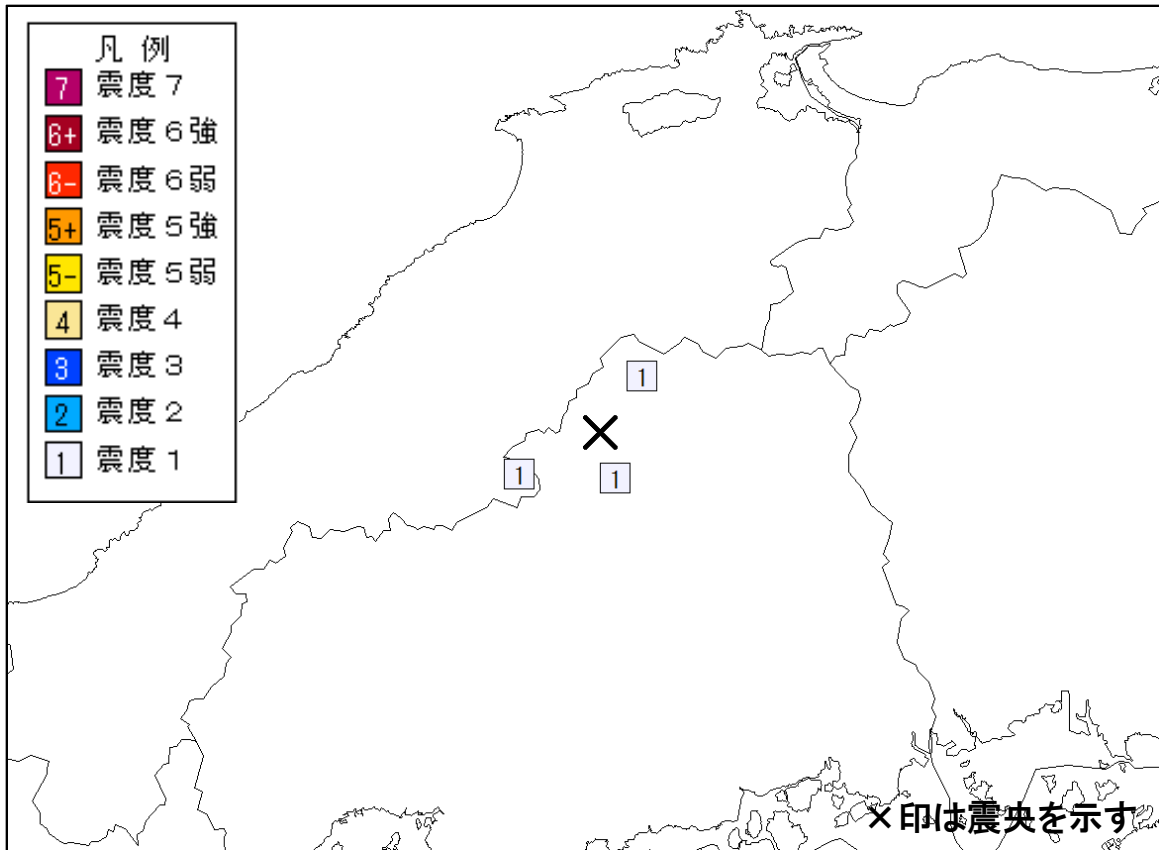
## 6月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2023年06月05日10時28分 ----- 地点震度 ----- 島根県 震度 1： 邑南町下口羽 *	広島県北部	34° 56.8' N	132° 49.3' E	9km	M2.8
2023年06月30日18時28分 ----- 地点震度 ----- 島根県 震度 1： 川本町川本* , 邑南町淀原 *	広島県北部	34° 48.3' N	132° 34.2' E	16km	M2.9

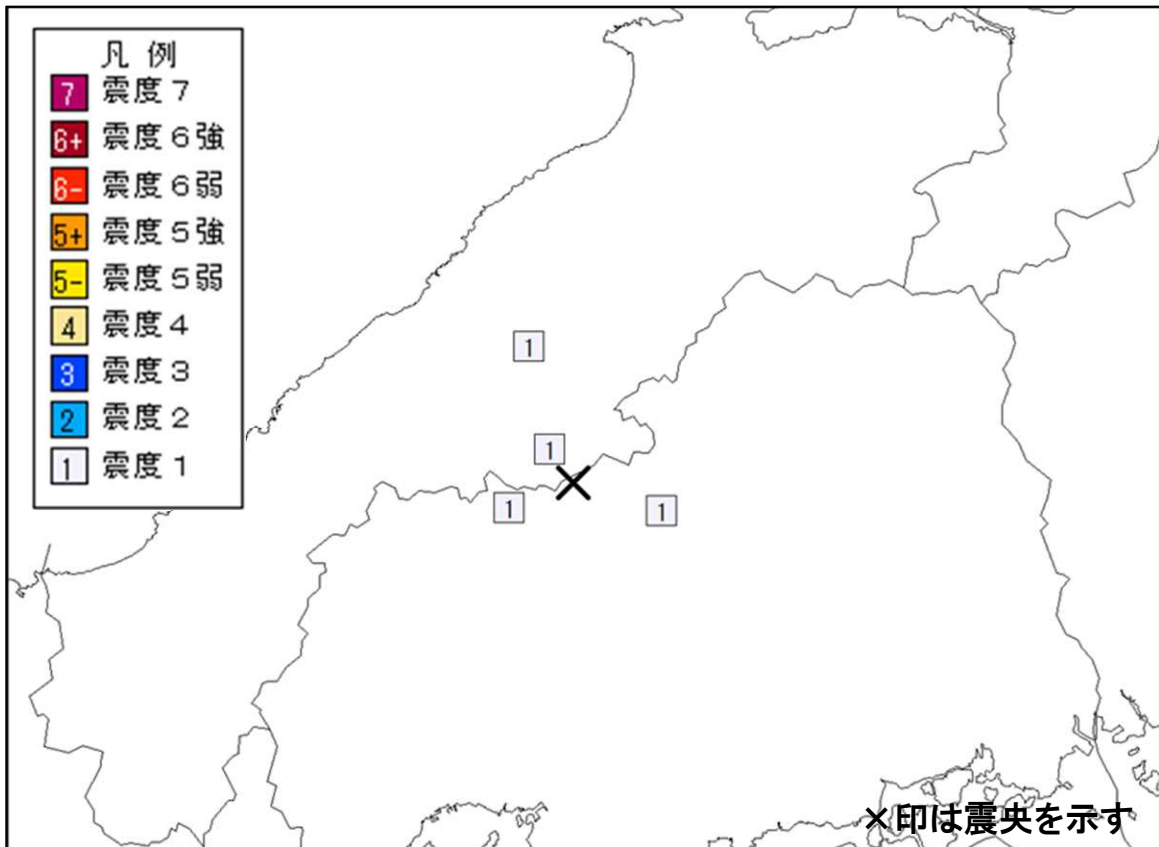
・ 地点名の後に\*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

# 【観測点震度分布図】

2023年6月5日10時28分 広島県北部



2023年6月30日18時28分 広島県北部



## 「気象業務はいま 2023」

6月1日の気象記念日にあわせ「気象業務はいま」を刊行しました。

気象庁では、取組の現状と今後の展望など、気象業務の全体像について広く国民の皆様にご覧いただくことを目的として、毎年6月1日の気象記念日にあわせ「気象業務はいま」を刊行しています。

今年は、関東大震災から100年を迎えることから、「気象庁における巨大地震対策」について特集しています。関東大震災など節目を迎える大震災を振り返りながら、南海トラフ沿いや日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に関する取組をはじめとした、防災気象情報の強化や改善について紹介しています。各方面でご活躍されている方々のコラムを交え、また、トピックスでは話題の線状降水帯や気候変動対策など、気象庁の最新の取組がわかる一冊です。



### 特集 気象庁における巨大地震対策

- 1 令和5年（2023年）に節目を迎える過去の巨大地震等
  - (1) 関東大震災から100年
  - (2) 日本海中部地震から40年、北海道南西沖地震から30年
- 2 巨大地震対策
  - (1) 南海トラフ沿いの巨大地震対策
  - (2) 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策
- 3 防災気象情報の強化
  - (1) 長周期地震動に対応した防災気象情報の強化
  - (2) 推計震度分布図の改善
- 4 普及啓発の取り組み

「気象業務はいま」は、気象庁ホームページから全文をダウンロードできます。ぜひご覧ください。

ホーム > 各種申請・ご案内 > 刊行物・レポート

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/hakusho/2023/index.html>

